

日本航海学会 第135回 講演会 プログラム

10月29日(土) プログラム(2)

会場	第1会場：音楽ホール	第2会場：407・408会議室	第3会場：507会議室
	第1セッション 座長： 榎原 繁樹（東海大学）	第5セッション 座長： 酒出 昌寿（水産大学校）	第9セッション 座長： 丹羽 康之（海上技術安全研究所）
09:30-09:50	講演番号：K135-1 北極海航路の安全航行のための運航実務に関する基礎検討（操船編） 正会員○大貴 伸（日本海難防止協会） 正会員 奥籠 大司（海技教育機構） 正会員 遠藤 小百合（海技教育機構） 非会員 小川 泰治（日本海難防止協会）	講演番号：K135-13 交通密度を考慮した福岡—羽田便の関東南セクターにおける飛行時間予測について 正会員 藤田 雅人（海上保安大学校）	講演番号：K135-25 表面筋電図を用いた小型船舶動揺に対する乗船者の姿勢制御動作の解析 正会員○土井根 礼音（東京電機大学） 正会員 坂牧 孝規（鳥羽商船高等専門学校） 正会員 瀬田 広明（鳥羽商船高等専門学校） 非会員 本間 章彦（東京電機大学）
09:50-10:10	講演番号：K135-2 小型船舶の波浪中転覆事故要因の類型化に関する研究 正会員○柳 裕一朗（海上技術安全研究所） 非会員 田口 晴邦（海上技術安全研究所）	講演番号：K135-14 船舶交通環境の新たな危険度評価に関する基礎的研究-II 正会員○月坂明広（中電技術エフエフ株式会社） 正会員 庄司るり（東京海洋大学） 正会員 山田多津人（海上保安大学校） 正会員 水井真治（広島商船高等専門学校）	講演番号：K135-26 スマートフォンと生体情報センサを用いた小型船舶向け海難通報システム 正会員 ○大島 浩太（東京海洋大学） 正会員 古谷 雅理（東京海洋大学） 非会員 北川 直哉（東京農工大学） 正会員 庄司 るり（東京海洋大学）
10:10-10:30	講演番号：K135-3 日本沿岸の距岸別気象海象解析と小型船舶の余裕乾舷 正会員○黒田 貴子（海上技術安全研究所） 非会員 田口 晴邦（海上技術安全研究所） 正会員 辻本 勝（海上技術安全研究所）	講演番号：K135-15 VDESシミュレータの開発 正会員○長谷川 和彦（大阪大学大学院） 非会員 畑 耕治郎（大手前大学） 非会員 澤田 涼平（大阪大学） 非会員 山林 潤（古野電気株式会社）	講演番号：K135-27 船上又は陸上での運航管理のための機関運転データの利用方法に関する研究 正会員○大見航也（鳥羽商船高等専攻科） 正会員 今井康之（鳥羽商船高等専攻科） 非会員 山野武彦（鳥羽商船高等専攻科） 正会員 鈴木 治（鳥羽商船高等専攻科）
10:30-10:50	休憩		
	第2セッション 座長： 田丸 人意（東京海洋大学）	第6セッション 座長： 山田 多津人（海上保安大学校）	第10セッション 座長： 天井 治（電子航法研究所）
10:50-11:10	講演番号：K135-7 港内の河口域近辺に発生する流れについての海洋環境調査 学生会員 ○神田 侑希（富山高専 専攻科） 正会員 千葉 元（富山高専商船学科） 正会員 吉田 将司（サレジオ高専機械電子工学科） 非会員 島崎 清寿（富山高専技術室）	講演番号：K135-16 目視と計器による情報が避航判断に及ぼす影響について 学生会員○加藤 由季（神戸大学大学院） 正会員 瀧 真輝（神戸大学大学院） 正会員 藤井 進生（海技大学校） 正会員 久保野 雅敬（海技大学校）	講演番号：K135-28 AISデータによる船舶の標準航跡に関する検討 正会員○本多 健二（東京海洋大学） 正会員 庄司 るり（東京海洋大学） 正会員 稲石 正明（東京海洋大学）
11:10-11:30	講演番号：K135-5 船舶を用いたトカラ列島横断気象・海象観測 正会員 ○嶋田 陽一（水産大学校）	講演番号：K135-17 船尾灯の汚損が見張りに及ぼす影響 学生会員 ○赤瀬 智彦（神戸大学） 学生会員 福田 凌（神戸大学） 学生会員 松江 奈海（神戸大学） 正会員 古莊 雅生（神戸大学）	講演番号：K135-29 腕時計型ウェアラブルデバイスとAIS代替システムの連携 学生会員○瀬尾 敦生（弓削商船高等専攻科） 学生会員 肥田 琢弥（弓削商船高等専攻科） 非会員 宇崎 裕太（弓削商船高等専攻科） 正会員 長尾 和彦（弓削商船高等専攻科）
11:30-11:50	講演番号：K135-6 潮汐発生メカニズムに関する新しい解釈 正会員○河合 雅司（富山高専専門学校） 非会員 川口 清司（富山大学）	講演番号：K135-18 見張り業務におけるワークロードの低減方法に関する考察 正会員 ○内野 明子（東京海洋大学） 正会員 小林 弘明（東京海洋大学）	講演番号：K135-30 海上におけるQZSSの位置測位とLTE/3Gの電波強度の調査 学生会員○肥田 琢弥（弓削商船高等専門学校） 学生会員 瀬尾 敦生（弓削商船高等専門学校） 正会員 長尾 和彦（弓削商船高等専門学校） 非会員 宇崎 裕太（弓削商船高等専門学校）
11:50-12:10	講演番号：K135-4 日本の海洋観測・探査のための調査船等運航ネットワーク 学生会員○國本 志帆（神戸大学大学院） 正会員 林 祐司（神戸大学大学院）	講演番号：K135-19 海上交通の安全を高める国際VHFを用いた船舶間コミュニケーション 学生会員 田崎 佑一（東京海洋大学） 正会員○竹本 孝弘（東京海洋大学） 正会員 西崎ちひろ（東京海洋大学） 正会員 國枝 佳明（東京海洋大学）	講演番号：K135-31 廃船を利用した海上環境における作物生産の利点調査 正会員 村田 光明（大島商船高等専門学校）
12:10-12:30	昼休み		

日本航海学会 第135回 講演会 プログラム

	第3セッション 座長：増田 光弘（東京海洋大学）	第7セッション 座長：逸見 真（東京海洋大学）	第11セッション 座長：福田 巖（東海大学）
13:30-13:50	講演番号：K135-8 Real-time analysis of PMM tests using IIR filters - II. 学生会員 ○内堀 勇輝（東京海洋大学）、井関 俊夫（東京海洋大学）	講演番号：K135-20 自律運航実現に向けた法的課題 学生会員○梅田 綾子（東京海洋大学） 正会員 清水 悦郎（東京海洋大学）	講演番号：K135-32 節水の呼びかけが乗船実習における水の使用意識に及ぼす影響 正会員 森井 康宏（長崎大学水産学部長崎丸） 正会員 行平 真也（大島商船高等専門学校） 学生会員○久我 太陽（大島商船高等専門学校） 正会員 真角 聡（長崎大学水産学部鶴洋丸）
13:50-14:10	講演番号：K135-9 船体動揺のRBF-ARモデル解析 正会員○寺田 大介（水産研究・教育機構）	講演番号：K135-21 運輸安全マネジメントの活性化への新たな試みについて （WIB式安全衛生マネジメントを用いた事例報告） 正会員○坂田 真一郎（国土交通省 中国運輸局） 正会員 久宗 周二（高崎経済大学）	講演番号：K135-33 乗船実習前後におけるコミュニケーション・スキルの変化 正会員 ○行平 真也（大島商船高等専門学校） 正会員 清水 健一（長崎大学水産学部） 正会員 八木 光晴（長崎大学水産学部） 正会員 青島 隆（長崎大学水産学部）
14:10-14:30	講演番号：K135-10 水中ケーブルが接続された錨泊船舶の挙動に関する基礎的研究 正会員 河村 義顕（広島商船高等専門学校） 学生会員 江種 大宗（広島商船高等専門学校） 学生会員 ○岸 拓真（東京海洋大学大学院） 正会員 小林 豪（広島商船高等専門学校）	講演番号：K135-22 内航海運の船舶管理に関する研究 学生会員○畑本 郁彦（神戸大学） 正会員 石黒 一彦（神戸大学） 正会員 羽原 敬二（関西大学） 正会員 古莊 雅生（神戸大学）	
14:30-14:50	休憩		
会場	第1会場：	第2会場：	第3会場：
	第4セッション 座長：寺田 大介（水産研究・教育機構）	第8セッション 座長：石橋 篤（東京海洋大学）	
14:50-15:10	講演番号：K135-11 東日本大震災における津波観測および港内係留船の被災実態調査に基づく係留限界津波高さの推定 正会員 ○榎原 繁樹（東海大学） 正会員 阿部 郁男（常葉大学） 正会員 久保 雅義（神戸大学名誉教授） 正会員 津金 正典	講演番号：K135-23 GSPコンパスを利用した曳航船・被曳船の船体姿勢計測について 学生会員○久保田 崇（大島商船高等） 正会員 河口 信義（神戸大学） 正会員 齋藤 威志（日本海事検定協会）	
15:10-15:30	講演番号：K135-12 駿河湾における漁協および漁船の津波対策の現状 正会員○福田 巖（東海大学） 正会員 八巻 貴洋（東海大学海洋学部乗船実習課程） 正会員 野瀬 和裕（東海大学海洋学部乗船実習課程）	講演番号：K135-24 トリムや喫水の変化に対応した船体近傍の俯瞰表示 学生会員○下赤 洋介（広島大学） 正会員 平田 法隆（広島大学）	
15:45-18:00	研究委員会（呉市生涯学習センター 会議室）		

G:一般講演、F:フレッシュマン講演

講演者へのお知らせ：講演会の運営について

1. 講演時間は、発表15分、質疑応答5分です。
2. 発表開始の後、12分で1鈴を、15分では2鈴を鳴らして発表時間の終了をお知らせします。
15分を経過してもまだ講演が続いている場合には、16分で3鈴を鳴らし、その時点で発表を打ち切っていただきます。また20分の講演終了時間は長鈴にてお知らせいたします。

参加者へお願い：質疑応答について

1. 質疑応答におけるご質問の際には、ご所属とお名前をお知らせ下さい。
2. 時間の許す限り、活発なご討論をお願いいたします。

以上